

大切な人を迎えるために…

US RUTORA AFU

ウルトラ サフ

あらゆる補修に対して、パテ1回+プラサフ1回の『ウルトラスピード』作業を実現

- 驚きの膜厚350ミクロン! (従来プラサフの3~5倍)
#80ペーパーでできたペーパー目が完全に埋まります。
- 下地作業の中で一番難しい“ヒズミ(WARP)抜き”が思いのまま。
優れた研磨性で、#600ペーパーで楽に研磨できます。
- 上塗り原色を加えて、自由にカラープラサフとして使用できます。
- 上塗り用硬化剤・シンナーを共用できるので、専用の硬化剤を持つ必要がありません。

ISAMU PAINT

URUTORA

SAFU

ウルトラ サフ

驚きの膜厚
350ミクロン!!



特長

- 1.ひとつのプラサフで「厚塗り」「標準」のふたとおりの使い方ができます。
- 2.「厚塗り」仕様では350ミクロンの膜厚を達成（従来のプラサフの3～5倍）
- 3.ボディカラーに合わせて、自由にカラープラサフとして使用できます。原色を30%以内で加えてください。
※ミラノ2K・コモ、AU21、ウレタ88原色を使用してください。
- 4.硬化剤、シンナーは上塗り塗料用と共通で使用できます。
※使用硬化剤（ミラノ2K・コモ、MR、AU21、ウレタ88）
※使用シンナー（ミラノ2Kコモシンナー、AU21シンナー、ウレタ88シンナー）
- 5.地球に優しい塗料設計 米国EPA（環境保護庁）
RACT基準適合 危険物分類 第二石油類

■使用ポイント

	鋳金パテ	中間パテ	仕上パテ	プラサフ工程
ウルtrasスピード 補修 ★	ストロングパテ80 (80~120ペーパーでひきすみ置き→320ペーパーで目ならしする)	→	＜不要＞	ウルtrasサフ 厚塗り
標準補修	ストロングパテ80	→ くら研ぎパテ180	→	ウルtrasサフ 標準

★あらゆる補修に対して、パテ1回+プラサフ1回の「ウルtrasスピード」作業を実現!

使用方法

■配合比

主剤	硬化剤	シンナー (上塗り塗料用シンナー)注3
100	コモハードナー(全種) ミラノ2KMRクリアー 専用硬化剤(全種) AU21硬化剤 注1 ウレタ88硬化剤 注2	10 厚塗り仕様 5~20% 標準仕様 20~40%

注1) 超速乾硬化剤を除く

注2) バンパー用硬化剤、軟質スポイラー用硬化剤を除く

注3) 厚塗り仕様の場合は、上塗り塗装時より1ランク濃いシンナーを使用する。

■可使時間

10℃	20℃	30℃
2時間	1時間	30分

■塗装膜厚

4回塗り	厚塗り仕様(シンナー 5~20%)	180~350ミクロン
	標準仕様(シンナー20~40%)	50~180ミクロン

■乾燥時間(研磨可能時間)

	標準仕様	厚塗り仕様
10℃	4時間	9時間
20℃	2時間	6時間
30℃	1時間	3時間
強制乾燥 (セッティング5分後) 注1	40℃×5分 +60℃×15分	40℃×5分 +60℃×30分

注1) 塗装直後に強制乾燥させると、ピンホールが発生する場合があります。

注意事項

1. プラサフ塗装前の足付け研磨では、旧塗膜に付いている荒いペーパー傷を出来るだけ消して下さい。
旧塗膜に荒いペーパー傷が付いていると、プラサフを塗る面積が広くなります。
2. 同プラサフは、可使時間が短くなっています。必要量を調べ、すぐ使い切ってください。
又、使ったスプレーガン・容器等は、出来るだけ早く洗浄して下さい。
3. 一度に厚塗りせず、塗装間隔を取りながら塗り重ねてください。
4. 同プラサフを強制乾燥する時は、上記乾燥条件をお守り下さい。
膜厚が厚い為、ピンホールに注意して下さい。
5. プラサフのボカシ際は、丁寧に研磨して下さい。
ボカシ際の研磨が不十分な状態で上塗りすると、後でプラサフのボカシ際が出てしまいます。
6. 同プラサフでシール効果が必要とする場合は、乾燥時間を長く取るとそれだけシール効果が得られます。

使用にあたってのご注意

A. 作業上の注意点

1. 塗料・スプレーミストを皮ふや粘膜に付着させない
●作業着・手袋・フード付帽子などで、皮ふなどに直接付着しないように保護してください。
●保護メガネを必ずかけてください。目に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに専門医の手当を受けてください。
2. スプレーミストを吸い込まない
塗装の際、JIS T8153に適合し労働大臣の行う形式検定に合格した送気マスクを必ず着用してください。

B. イソシアネートの毒性について

1. スプレーミストの吸入による中毒症状
軽症: 不快感・頭痛・咳 中症: 喉頭炎と同じ様な症状
重傷: ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作

2. 皮ふに触れた場合の炎症

塗料・スプレーミストが直接皮ふに触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。

3. 一度中毒症状になると再発しやすい

一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので注意してください。
気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や、既症のある人、皮ふカブレのしやすい人、アレルギー質の人は、作業には従事しないでください。

C. 容器のふたを必ずしめる

1. 硬化剤は空気の湿気・水分と反応するので、使用時以外は必ずふたをして、湿気・水分との接触をさせてください。
2. 主剤は使用時以外は必ずふたをして、溶剤の揮散を避けてください。



イサム塗料株式会社

営業本部	〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8	☎06(6308)1365 FAX 06(6308)5581
東京支店	〒174-0042 東京都板橋区東坂下1-16-7	☎03(3969)2131 FAX 03(3969)2137
名古屋支店	〒452-0824 名古屋市西区こも原町82	☎052(502)0136 FAX 052(502)0174
大阪支店	〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8	☎06(6308)1363 FAX 06(6308)1348
福岡支店	〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町大字仲原字高原2777-1	☎092(611)1360 FAX 092(623)8430
札幌出張所	〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条3-11-13	☎011(893)8035 FAX 011(893)8036
仙台出張所	〒981-3201 仙台市泉区泉ヶ丘1-20-23	☎022(375)1367 FAX 022(375)2812
横浜出張所	〒232-0016 横浜市中区宮元町3-51	☎045(715)7462 FAX 045(715)7463
広島出張所	〒733-0012 広島市西区中広町1-5-17-2	☎082(291)1234 FAX 082(295)6138
滋賀工場	〒525-0055 滋賀県草津市野路町2301	☎077(562)1360 FAX 077(562)1364